

避難訓練を実施！先生方の消火訓練や消防車の見学なども合わせて実施！



12月14日(金)10時から、避難訓練を行いました。今回は、南棟にある湯沸かし室から火災が発生し、延焼の危険から素早く避難することを目的に実施しました。

「ただ今、湯沸かし室で火災が発生しました。園児は先生の指示に従い、素早く園庭南側の避難所へ避難しなさい。」

との放送があり、真岡消防署の方の見守る中、各お部屋からほとんどの園児が無言で避難することができました。



園児たちの避難する様子を見ていて素晴らしいと感じたことは、誰もがハンカチで口を押さえ、素早く避難場所である園庭南側にある「ツルツル山」付近に避難できたことです。整列も素早くしっかりとでき、放送開始から避難完了（先生方が人員を確認し園長に報告するまで）まで約3分でした。

整列後、消防署の方から避難の様子や火災を起こさないための注意などについてお話をしてもらいました。その中でも、園児たちの避難の仕方がとても素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。



次に、消火訓練を消防署の方の指導の下、先生方が行いました。水消火器を持って指定の位置に着くと、「〇〇先生ガンバレ！ガンバレ！」という声が園児たちから自然と出てきました。その声に励まされ、先生方は火災を発見した後周りに知らせる「火事だー！」という言葉を大声で言うなど、初期消火とその対応が一番大切であることをしっかりと園児たちに見せることができました。

その後、消防署の方をお願いして、消防車の仕組みについてお話をいただきました。子ども達の大好きな消防車。目を輝かせて、「ホースの長さや水が出る仕組み」などについて話を聞くことができました。年長さんの中には、実際に消防服を着せてもらって大満足の子も。真岡消防署の皆さん、無理なお願いを聞いていただき本当にありがとうございました。



現実の場面で危機的な状況で力を発揮するためには、「訓練とシミュレーションが大切」だと言われています。理由として、「聞いたことは忘れ、見たことは



覚え、やったことは身につく」からだそうです。訓練はとても大切なですね。

〔写真〕

(1段目～3段目)



しっかりとハンカチを口と鼻に当て、煙を吸い込まないように避難をする園児たち。真剣そのもの！(4段目)先生方の消火訓練の様子。いざという時のため、実際に消火器を使つての訓練です。

(5段目)真岡消防署の方のご厚意により、消防車の仕組みについての説明を聞くことができました。いい思

い出になりました。本当にありがとうございました。

(6段目左・最後の段)消防署の方への質問コーナーで：積極的に手を挙げて、しっかりと疑問に思っている事を伝えることができました。さすが年長さん！

(6段目右)消防署の方と消防車をバックに記念撮影！とてもいい表情で撮ることができました。

